

平成26年度名古屋市博物館特別展 10/25土→11/30日

休館日 | 10月27日(月), 28日(火), 11月4日(火), 10日(月), 17日(月), 25日(火)

開館時間 | 午前9時30分→午後5時(入場は午後4時30分まで)

主催 | 名古屋市博物館 中日新聞社 日本経済新聞社

さんえいけつとナゴヤ

三英傑と名古屋

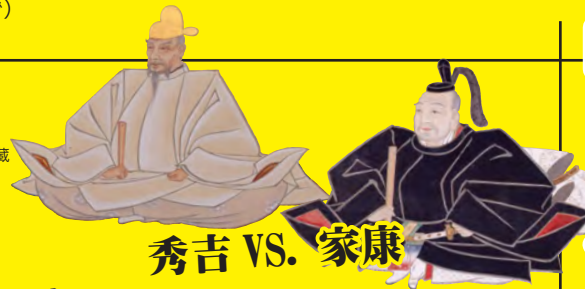
年代順だから、よくわかる。



天正大判 名古屋市博物館蔵

世界一、大きな金貨

豊臣秀吉画像 名古屋市博物館蔵



秀吉 VS. 家康

徳川家康画像 名古屋市博物館蔵

小牧長久手合戦図屏風(部分) 名古屋市博物館蔵

小牧長久手の戦い

織田系図 個人蔵

信長

長篠合戦図屏風(部分) 名古屋市博物館蔵

長篠の戦い

天下布武

織田信長朱印状 個人蔵

織田信長画像 個人蔵

桶狭間のほうび

盃 個人蔵

雛人形 個人蔵

家康のひな人形

名古屋市博物館

地下鉄桜通線 桜山駅4番出口 徒歩5分

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1 電話 (052)853-2655 FAX (052)853-3636 ホームページ <http://www.museum.city.nagoya.jp>

市バス・地下鉄でのおでかけが便利です。

ドニチエコきっぷ・一日乗車券を利用してご来館の方は

観覧料 100円割引





日本図世界図屏風 名古屋市博物館蔵



平成 26 年度名古屋市博物館特別展 **さんえいけつとナゴヤ**

三英傑と名古屋



長篠合戦図屏風 名古屋市博物館蔵

愛知県出身の織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、いわゆる三英傑は、戦国の戦乱から天下統一へと日本を導きました。三英傑は天下統一の過程で故郷を離れますが、信頼できる人物に尾張の支配を任せ、家康は清須から名古屋へ城下を移転させました。

本展覧会では、文書・絵画・武具など、名古屋市博物館が 40 年にわたって収集してきた資料を中心に、三英傑にとって重要な地であった尾張名古屋との関わりを年表風にわかりやすく紹介します。

□観覧料金

一般 800 (600) 円、高大生 400 (200) 円、中学生以下 無料

※() 内は 20 名以上の団体料金

※名古屋市交通局の一日乗車券・ドニチエコきっぷを利用して来館された方は 100 円割引。

※身体等に障害のある方は手帳の提示により、本人と介護者 2 人まで当日料金の半額。

※各種割引は重複してご利用いただくことはできません。

□講演会

11 月 1 日 (土) 「三英傑の城づくり」 千田嘉博氏 (奈良大学学長)

11 月 16 日 (日) 「信長の生誕地と津島祭り」 石田泰弘氏 (愛西市教育委員会)

□戦国講談を楽しむ会

11 月 24 日 (月・祝) 「三英傑ものがたり」 女流講談師・古池鱗林さん

いずれも午後 2 時から (午後 1 時 30 分開場)、会場・地下 1 階講堂、先着 220 名

※当日 12 時 30 分より聴講整理券を先着順に配布します (1 名様 1 枚限り)

※聴講には本展チケット (観覧済み半券可) が必要です

□展示説明会

11 月 9 日 (日) 午後 2 時から (午後 1 時 30 分開場)、

会場・1 階展示説明室、先着 100 名、聴講無料、講師・当館学芸員

□はくづつかん古書市

11 月 22 日 (土)~11 月 30 日 (日)

郷土史ファン必見!

名古屋古書籍共同組合による古本市

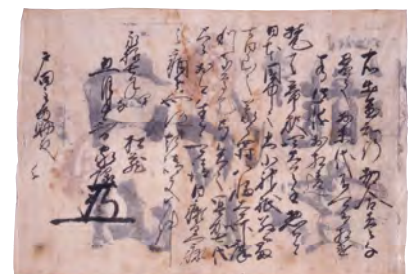
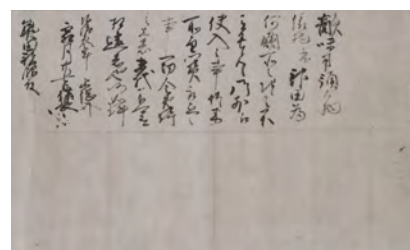
会場・1 階ロビー 午前 9 時 30 分~午後 5 時



色々系威片肌腕二枚胴具足 名古屋市博物館蔵



小牧長久手合戦図屏風 (部分) 名古屋市博物館蔵



上・織田信長判物 弘治 3 年 (1557) 名古屋市博物館蔵

中・木下秀吉書状 元龜元年 (1570) 頃 名古屋市博物館蔵

下・松平家康起請文 永祿 7 年 (1564) 名古屋市博物館蔵



おでかけは、公共交通機関で。名古屋駅から 17 分
地下鉄桜通線「桜山」下車、4 番出口から徒歩 5 分

名古屋市博物館

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1

電話 (052)853-2655 FAX(052)853-3636

ホームページ: <http://www.museum.city.nagoya.jp>

この印刷物は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。